

病院と地域をむすぶ



パイプライン



2018年 **1**月号

発行：2018.1.10 総合病院 南生協病院

十二月

一日外来患者数：827.8人 一日入院患者数：265.1人

ベッド稼働率：84.7% 救急車：202台 手術数：92件



2018年初にあたり 院長からのご挨拶

＝新年にあたって、南生協病院の向かう方向を皆様方にご紹介します＝

新年あけましておめでとうございます。

一昔前は、働く人が中心の時代でした。早く病気をみつけ病気を治すこと、病気を予防して元気に働くことが目的でした。若かった私（医師）も、患者さんも早期発見・早期治療、さらに病気の予防に熱心でした。「健康のためならなんでもする」と“健康”そのものが人生の目的のような人もいました。それが齢を重ねる中、いつの間にか、「健康も長生きも、ほどほどでいいよ」といわれる方が増えてきました。ひとりひとりの心模様に合わせた、「いい塩梅」の医療が求められていると感じます。医療の目的は“ひとびとが幸せな人生を全うできるようにする”ことです。



高齢化がすすむ中、病院で病気を治す医療から、地域で病を癒し、生活を支える“総合的な地域医療”が求められています。

南生協病院は二次救急病院です。地域の皆さんがもしもの時に気軽に受診できる外来機能と、必要時に入院できる救急医療（第二次）で地域に貢献しています。高齢の方では契機となった病気が治っても退院に向けて様々な問題が見つかることがあります。リハビリは入院中の機能回復だけでなく、退院後の生活環境整備・療養支援も視野に入れた総合的なリハビリを実施しています。継続した医療・介護が必要な方には地域の訪問看護や訪問診療、介護施設の紹介ができるよう日々顔のみえる関係づくりを進めています。さらに、南医療生協には地域に多くの組合員組織があります。日常的な声掛けや、ちょっとした困りごとは、組合員さん同士の“おたがいさま”の支えあいのネットワークが頼りになります。

南生協病院は今春、「地域包括ケア病棟」を開設予定です。地域包括ケア病棟は、生活をささえるための機能の充実を図り、地域住民のネットワークも生かし「ときどき入院、ほぼ在宅」の実現を目指します。

困ったときに気軽に相談できる「くらしをささえる私のまちのかかりつけ病院」、そんな病院を目指しています。引き続き、皆様のご愛顧・ご支援をよろしくお願いいたします。南生協病院院長 長江浩幸

第7回 医療活動フォーラムを開催します（南生協病院の医療活動を見に来て下さい）

日時 2018年2月8日（木）～10日（土） 9：00～20：00（土曜日は13:00まで）

場所 健診・ドックセンター3階会議室B・C

活動報告のポスター展示・DVD上映・紙芝居などの展示を予定しています。展示は、上記の時間帯は、どなたでも自由にご覧いただけますぜひ、ご参加ください。

※2月9日（金）16：00～は、ポスター発表（口演） 16：30～研修医ポートフォリオ発表会

(ご紹介) 南生協病院のリハビリではこんな医療活動もやっています

皆さんは心臓リハビリという言葉を知っていますか？



「リハビリ」というと脳卒中や骨折などで手足が不自由になった人が行うもの、というイメージが強いと思います。しかし最近では、心臓や肺、腎臓などの内臓の病気の人に対してもリハビリを行うことが一般的になっています。南生協病院のリハビリ科では、近隣の病院に先駆けて約10年も前から心臓リハビリを行っています。心臓リハビリは、心筋梗塞や心不全といった心臓の病気の人を対象にして、自転車こぎ運動や筋力トレーニングなどの運動療法と、

病気の再発を予防するための学習、スタッフによるカウンセリングを行います。心臓の病気のある人でも、運動機能を高めて疲れにくい体をつくること、病気の再発を予防すること、それにより日常生活を有意義に過ごせることを目的としています。

南生協病院 リハビリ科 理学療法士 倉知真一

外来のかかりやすさ向上のため「二日間ルール」を設けました

はじめて南生協病院を受診される方、初診の方、他院からの紹介患者様については、当日予約がいっぱいでも二日以内に（日祝日を除く）該当する外来の予約をお取りすることにしました。 これまでは、予約の空きがあるまで何日先でも、お待ちいただく事になっていましたが、それを改善しました。（予約センター）

膠原病外来始まりました

毎週水曜日午後予約外来にて、膠原病の予約外来が専門の医師により始まりました。まだ始まったばかりで予約に空きがあります。お電話で予約を取っていただき利用して下さい。

相談連携室 地域の開業医さんを62件訪問しました（7月～12月）

長江院長、水野副院長、長谷川副院長、香曾我部部長、宮崎医師といっしょに、地域の連携医の先生を訪問、南生協病院の利用などをお願いし、ご意見もいただきました。放射線の職員も同行し、検査のご案内もしてきました。B病院の先生からは「この前生協病院の救急にかかって助かったと自院の患者さんから言われた」ことや「紹介患者の返書もいただいてその診断が大変参考になった」とお褒めの答えもいただきました。さらに丁寧な、開業医連携をめざしていきます。

2017年12月28日 南生協病院「納会」で職場対抗卓球大会を行いました。

なんと、優勝は「医局チーム」でした、強すぎました。南生協病院の職員も、楽しく年末を迎えて、気持ちも新たに、新年を迎える準備をしました。たまには、こういうことも必要ですね。（編集担当）



写真は、水野医師（奥）と奥村医師（手前）です

